

(1) 実施機関名：

気象庁

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）噴火警報に資する火山活動の評価
（英文）

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備
(2) 推進体制の整備

(4) その他関連する建議の項目：

5 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究
(5) 大規模火山噴火
(6) 高リスク小規模火山噴火
6 観測基盤と研究推進体制の整備
(5) 社会への研究成果の還元と防災教育

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

防災関係機関の防災活動に資するため、火山活動を評価し、適時適切な噴火警報を発表する。また、よりの確な噴火警戒レベルの運用を行うため、新たな知見等を踏まえたレベル判定基準の見直しを進める。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

防災関係機関の防災活動に資するため、火山活動に高まりがみられた場合には、適切に噴火警報を発表する。また、火山活動の状況について、気象庁の火山情報で発表する等により社会に分かりやすく発信するとともに、各地の火山防災協議会にも提供して防災・減災活動を支援する。

また、よりの確な噴火警戒レベルを運用するため、最新の観測研究成果等に基づき、レベル判定基準の見直しを進める。

(7) 令和 6 年度の成果の概要：

・今年度の成果の概要

三宅島の噴火警戒レベル判定基準について、最近の火山活動の状況を踏まえた基準に見直すとともに、住民の避難等が必要になる山腹噴火について、警戒が必要な範囲の考え方を整理した。

令和 6 年 1 1 月から、火山活動に関する科学的助言を得るための火山情報アドバイザリー会議の運営を開始した。本会議の定例会において、噴火警報発表について事後検証を行った（予定）。

以下のとおり噴火警報・噴火予報を発表したほか、適宜、火山の状況に関する解説情報で火山活動の状況を発信した。

岩手山、令和6年10月2日、火口周辺警報（レベル2に引上げ）

御嶽山、令和7年1月17日、火口周辺警報（レベル2に引上げ）

須美寿島、令和6年9月19日、噴火警報（周辺海域警戒）

阿蘇山、令和6年4月26日、噴火予報（レベル1に引下げ）

令和6年5月15日、火口周辺警報（レベル2に引上げ）

令和6年7月19日、噴火予報（レベル1に引下げ）

霧島山（新燃岳）、令和6年12月12日、火口周辺警報（レベル2に引上げ）
口永良部島、令和6年4月13日、火口周辺警報（レベル3に引上げ）
令和6年10月18日、火口周辺警報（レベル2に引下げ）
令和6年11月20日、噴火予報（レベル1に引下げ）
令和6年12月6日、火口周辺警報（レベル2に引上げ）

・「関連の深い建議の項目」の目的達成への貢献の状況と、「災害の軽減に貢献する」という目標に対する当該研究成果の位置づけと今後の展望

(8) 令和6年度の成果に関連の深いもので、令和6年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

・論文・報告書等

・学会・シンポジウム等での発表

(9) 令和6年度に実施した調査・観測や開発したソフトウェア等のメタ情報：

(10) 令和7年度実施計画の概要：

雌阿寒岳、吾妻山、霧島山（新燃岳）等のレベル判定基準の見直しを行う。
また、引き続き災関係機関の防災活動に資するため、適時適切な噴火警報発表等を発表する。

(11) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

気象庁地震火山部火山監視課
他機関との共同研究の有無：無

(12) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：気象庁地震火山部管理課 地震調査連絡係長
電話：03-6758-3900(内線：5114)
e-mail：jmajishin_kanrika@met.kishou.go.jp
URL：http://www.jma.go.jp

(13) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：碓井勇二
所属：気象庁地震火山部火山監視課